

選舉治安情勢・安全対策

1. いつ、どこが、ホット・スポットになるのか。
2. 何に、警戒しなければならないのか。
3. どのような対策をとるべきか。

ナイロビにおける選挙治安情勢



1. 暴動

2007年の最悪の事態までには発展しないものの、暴力を伴う混乱に発展する可能性がある。

2. 凶悪犯罪

選挙期間中は、強盗等の一般犯罪が急増する。

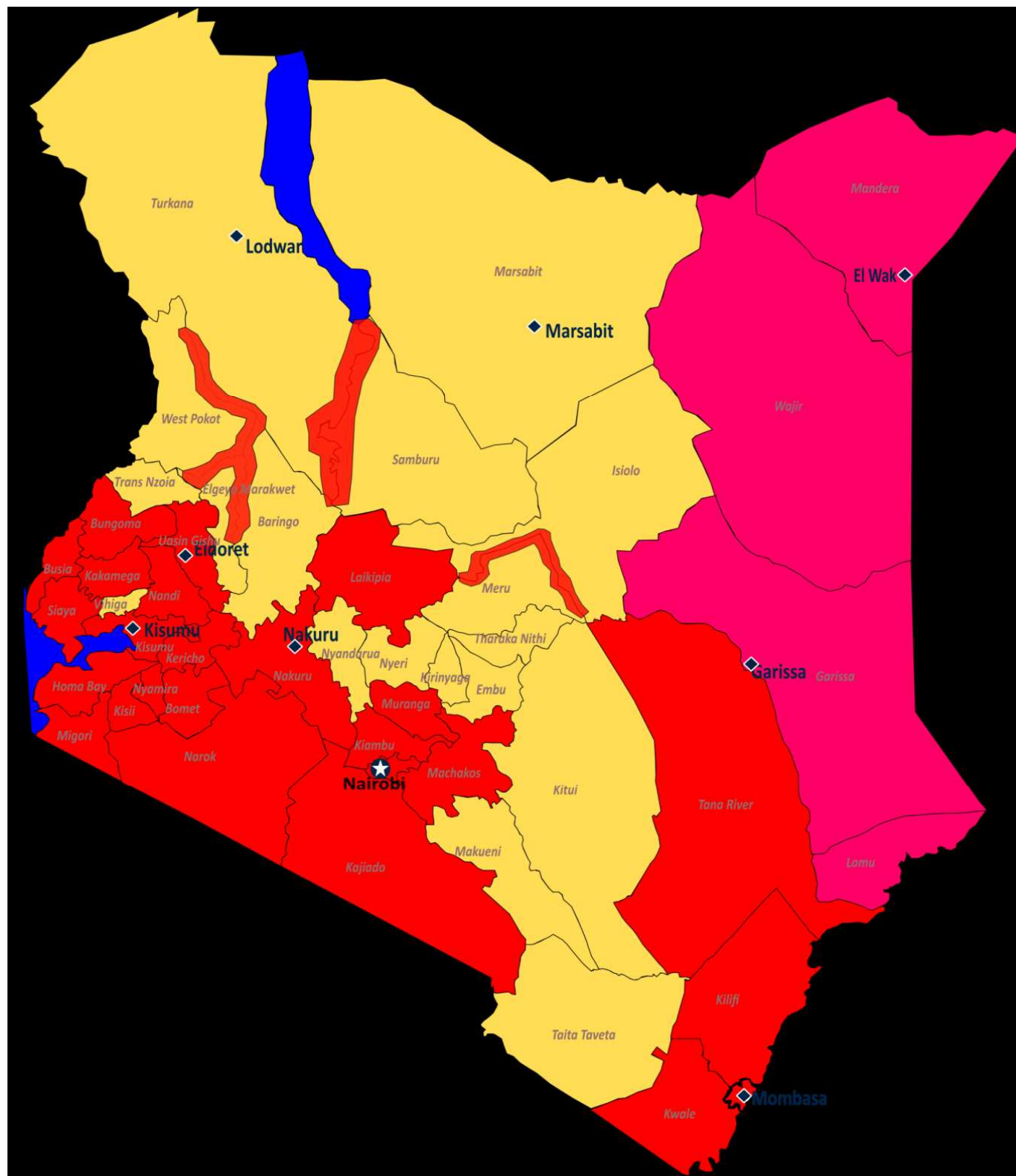
3. スラムからの波及

キベラ・スラム等における混乱が、ナイロビ全域に波及する可能性がある。

4. テロ

選挙の混乱に乗じたアル・シャバーブによるテロ攻撃に警戒する必要がある。

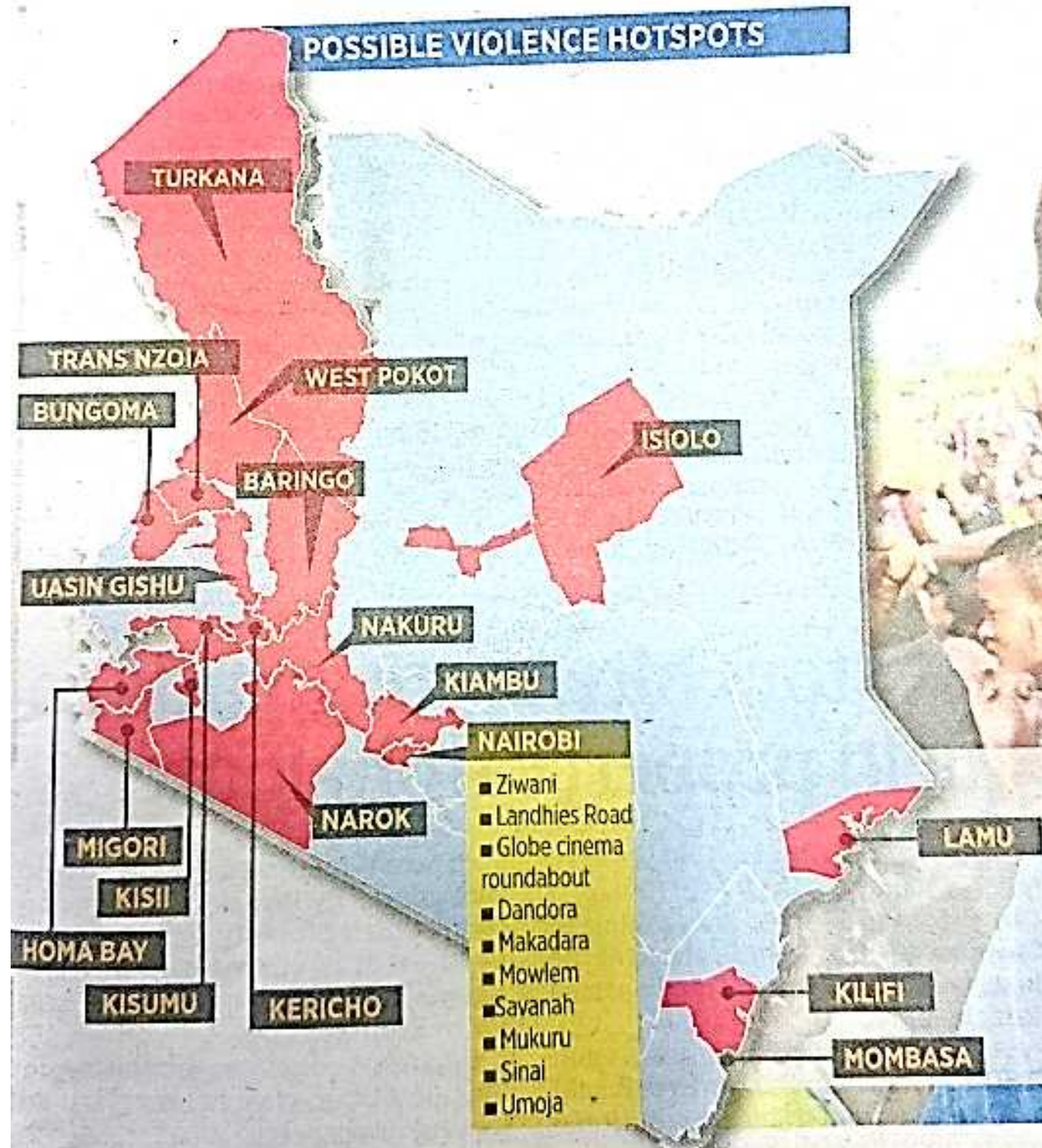
ホットスポット ～ケニア全域～



6月23日現在
オープンソース

ホットスポット

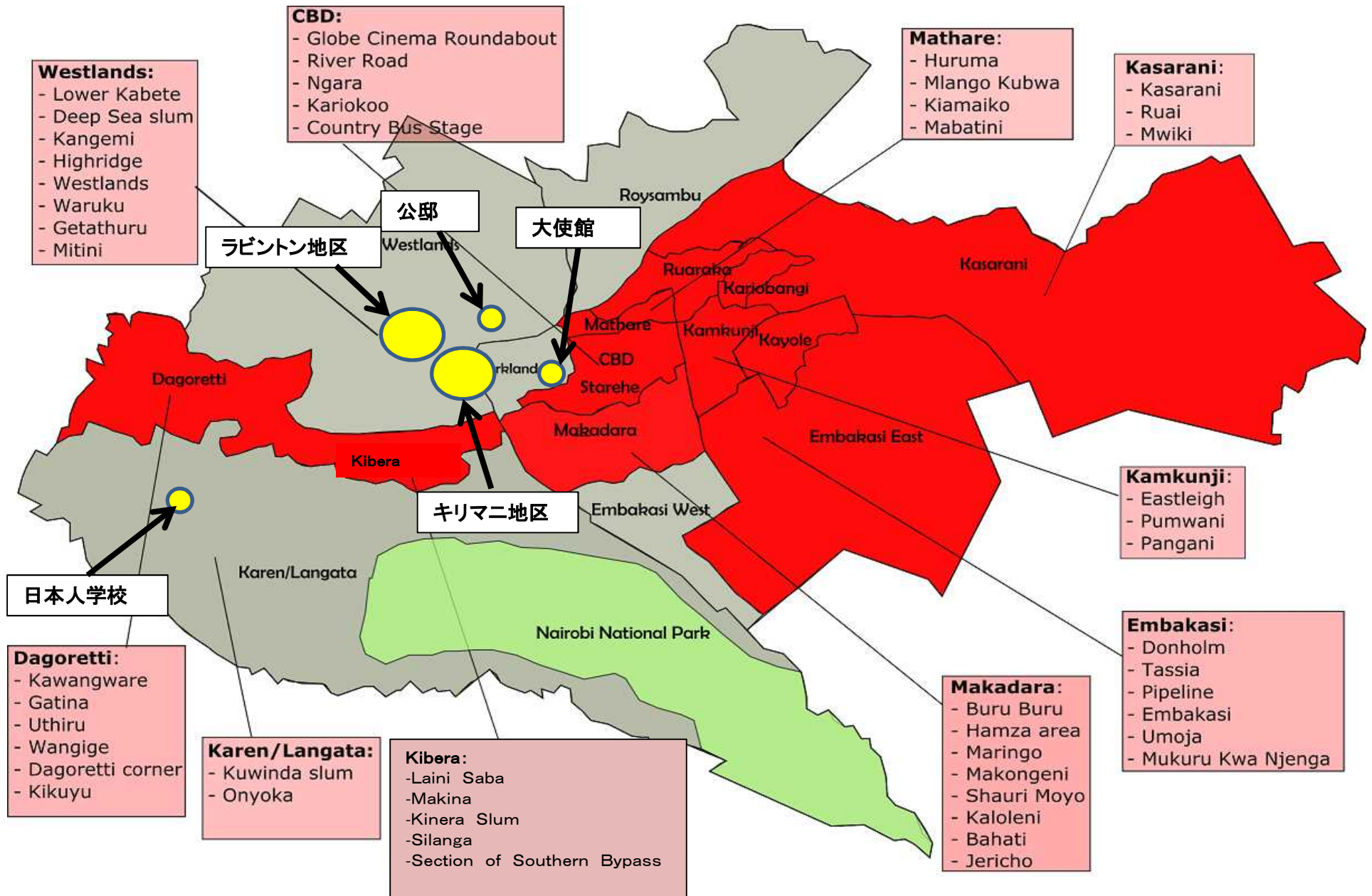
～ケニア全域～



7月5日付

Daily Nation

ホットスポット予想(ナイロビ)



7月5日現在・オープンソース

最近の主な選挙関連事件

○6月25日(日)西部シアヤ郡

野党NASAの集会時、若者が暴力的なデモを展開し、多数の若者が逮捕された。

○6月25日(日)西部ミゴリ郡

対立する支持者が衝突し、**1名が刺殺**された。

○6月28日(水)沿岸部モンバサ

対立する支持者が衝突し、モンバサ市内のビジネス活動が一時的に麻痺した。

○6月29日(木)西部キスム郡

野党NASAの集会を武器を使って妨害しようとした若者27名が逮捕された。

○7月1日(土)西部ミゴリ郡

野党NASAの集会時、支持者による投石で車両10台が破壊。警官隊と支持者の衝突に発展した。

○7月1日(土)ナイロビ

野党支持者同士が衝突し、投石等による武力衝突に発展した。

○7月1日(土)南部カジアド郡

カジアド郡の**野党ODM事務所が放火**された。

○7月6日(木)ナイロビ

ナイロビ・マザレスラムにおいて、支持者同士の衝突中に、犯罪集団の衝突も発生し、**3名が死亡**。

○7月7日(金)沿岸部モンバサ

モンバサ郡知事立候補者の事務所近くに**IED爆弾が設置**されたほか、7月6日、選挙街宣車が投石等で攻撃された。

○7月12日(水)中部バリンゴ郡

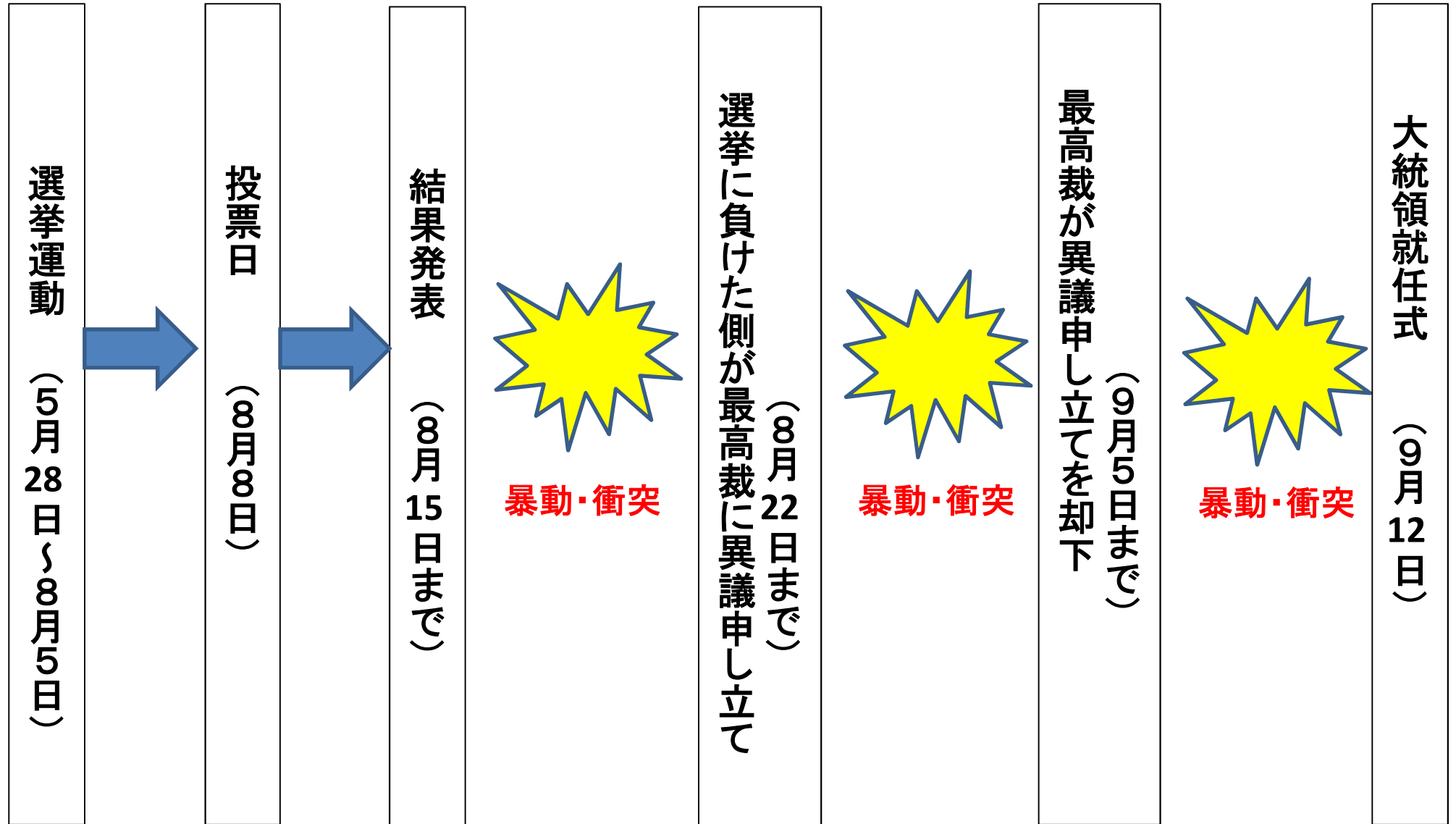
野党NASAの集会が、与党支持者による妨害で、大統領候補ライラ・オディンガ演説を中断する事態に発展した。

○7月13日(木)中部キアンブ郡

野党NASA大統領候補ライラ・オディンガが演説中に、与党支持の若者から投石による攻撃を受けた。



選挙治安シナリオ予想(順調に進んだ場合)



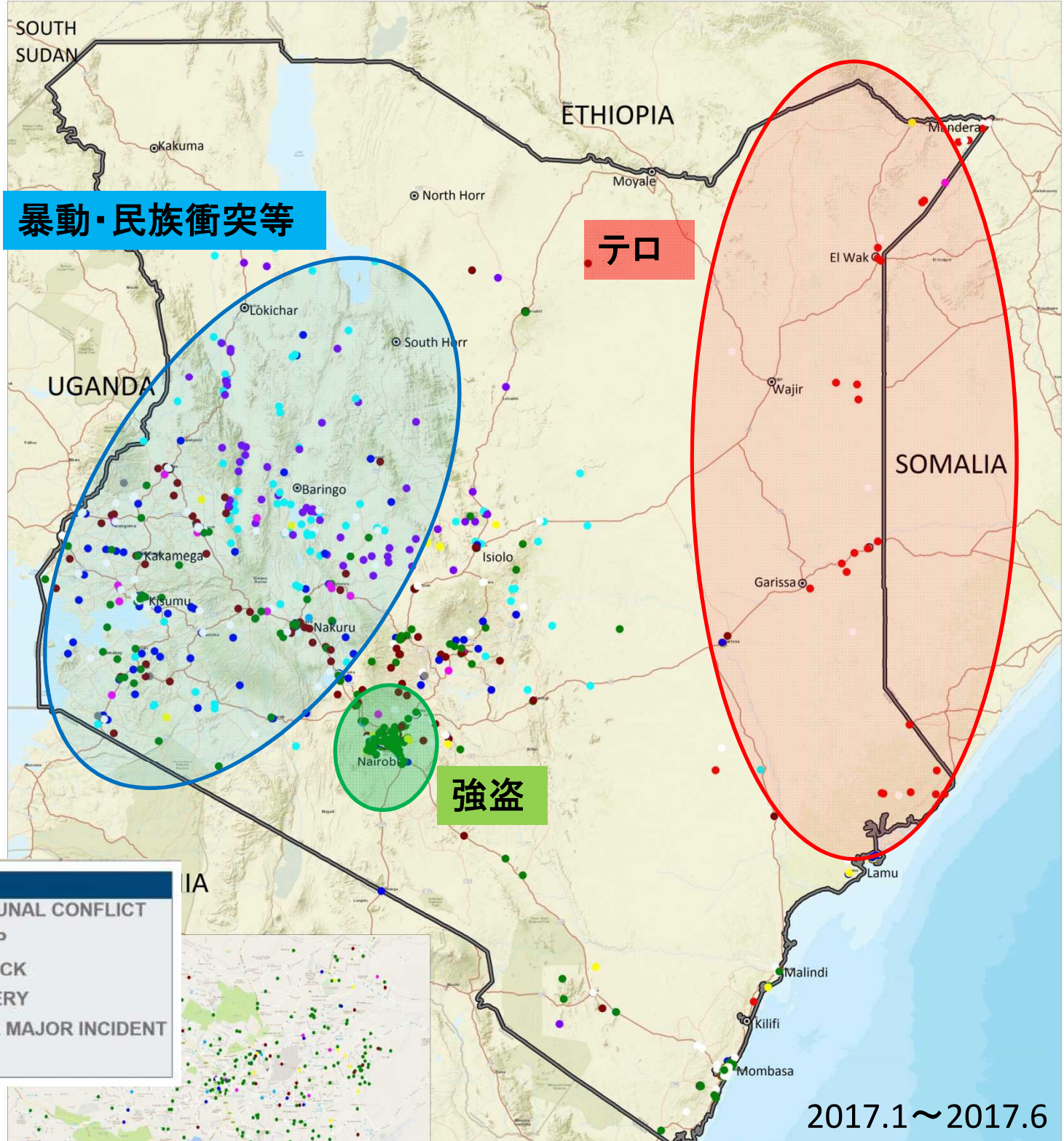
犯罪発生状況 (ケニア全土)

暴動・民族衝突等

テロ

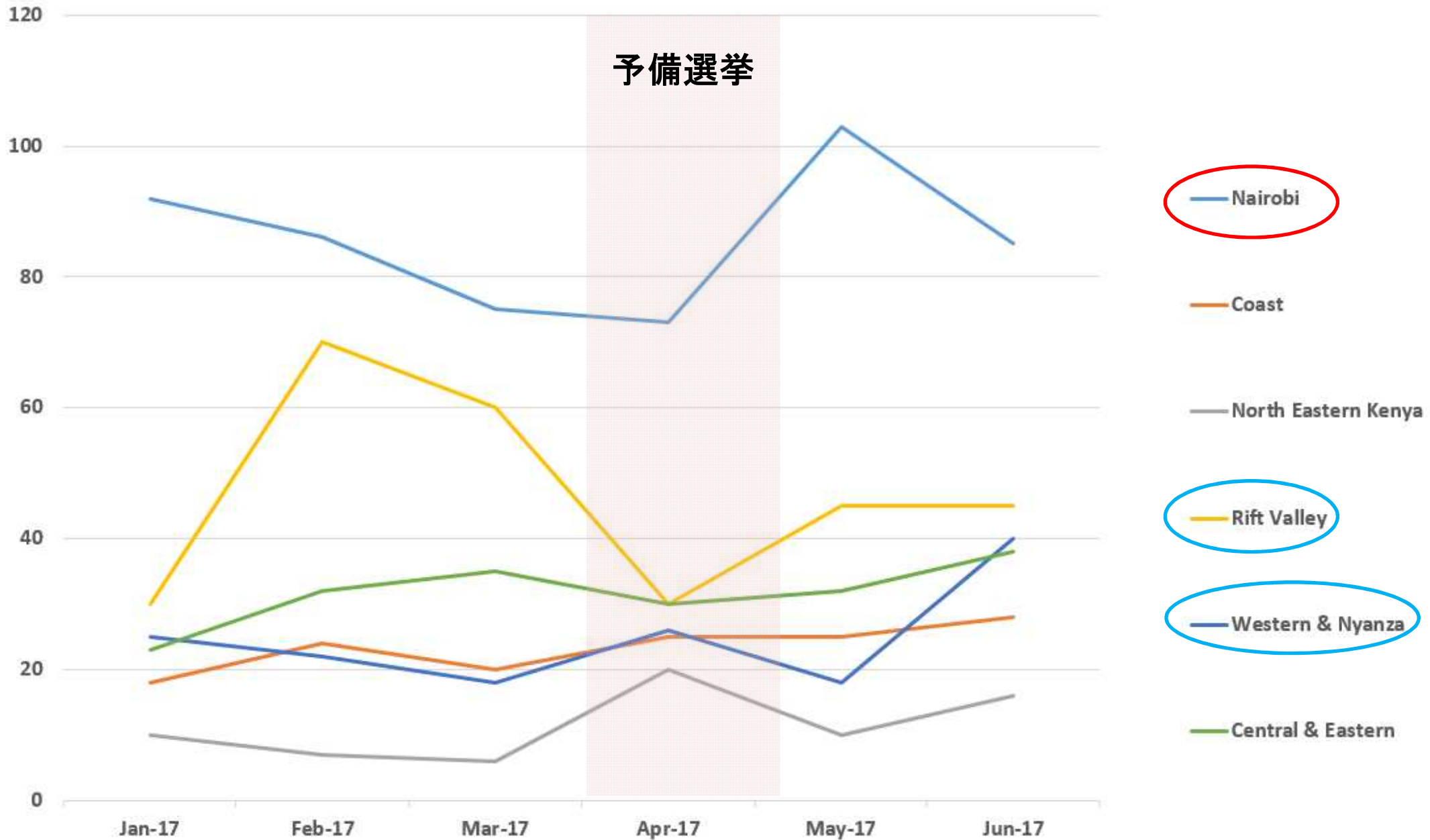
強盗

KEY	
● TERRORIST ATTACK	● COMMUNAL CONFLICT
● CIVIL DISRUPTION	● KIDNAP
● GANG ATTACK	● CARJACK
● CRIMINAL KILLING	● ROBBERY
● SHOOTING	○ OTHER MAJOR INCIDENT
● BANDIT ATTACK	

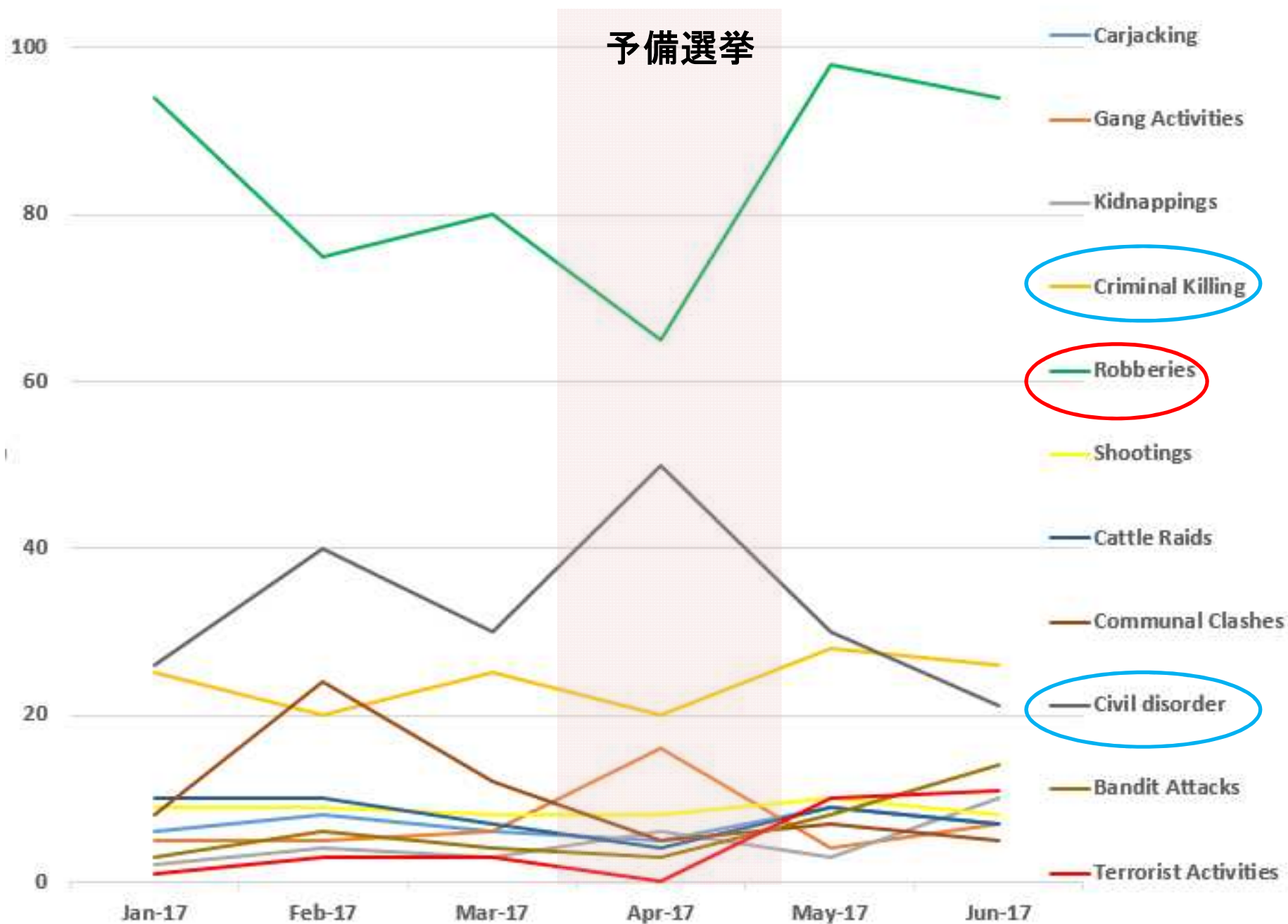


2017.1~2017.6

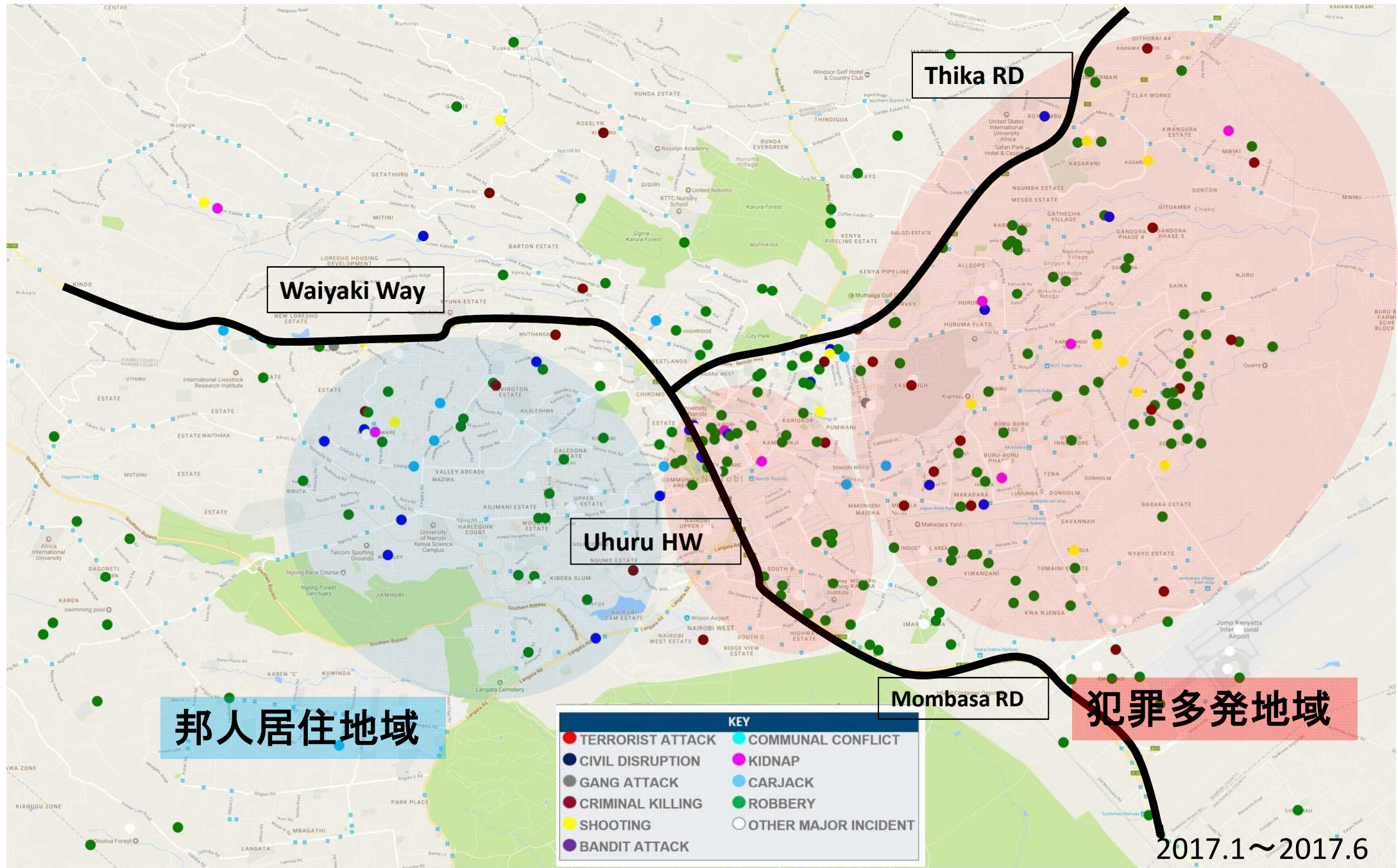
犯罪発生状況(各郡)



犯罪発生状況(犯罪別)



犯罪発生状況(ナイロビ)



大使館からの安全対策

1. 情報発信

スポット情報、領事メール、緊急SMS、ホームページ

2. 安全対策連絡会の開催(全在留邦人対象)

次回は、8月5日(土)に開催予定

3. 安全対策連絡協議会の開催(関係8団体代表対象)

原則2週間に1回開催

4. 安全の手引き

5. 在留邦人の行動基準

6. 安否確認

7. 医療

8. 退避

ケニア総選挙における 緊急事態発生に備えた 安全の手引き (2017年6月現在)



【ケニア総選挙】

- ・ 選挙運動期間 : 5/28 ~ 8/5
- ・ 投票日 : 8/8
- ・ 公式結果発表 : 8/15まで
- ・ 新大統領就任式 : 8/29
(9月、10月に、ずれ込む可能性あり)

在ケニア日本国大使館

住所 Mara Road, Upper Hill, Nairobi,
Kenya

電話 +254-(0)20-2898000

FAX +254-(0)20-2898220

ホームページ

<http://www.ke.emb-japan.go.jp/>

たびレジ

<http://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

☆ 平時に準備しておくこと

1 旅券・在留届

- 旅券は、6か月以上の残存有効期間があるか確認して下さい。(6か月以下の方は、在ケニア大使館に対して旅券切替発給を申請して下さい。)
- 旅券の最終頁の「所持人記入欄」は漏れなく記載して下さい。空欄に血液型も記入して下さい。
- 在留届出や外務省「たびレジ」登録を確実に行って下さい。緊急事態が発生した場合、緊急一斉通報によるメールなど、安全に関する情報を自動的に大使館から受け取ることができます。

2 現金、クレジットカード

- 現金、クレジットカード、その他身分証明書を旅券とともに、すぐに持ち出せるよう保管して下さい。
- 現金は、家族全員が10日間程度生活できる米ドル及びケニアシリングを準備して下さい。

3 携帯電話

- 平素から携帯電話をフル充電して下さい。
- 十分なクレジットを確保して下さい。携帯電話のスクラッチカードを余分に確保して下さい。
- 携帯電話を肌身離さず携帯して下さい。

4 自動車

- 緊急時、自動車を利用することを想定して、常にガソリンを十分に入れ、地図等を常備して下さい。
- 自動車の故障がないように、平素から点検・整備を励行して下さい。

5 備蓄

- 水・食料品(冷蔵庫で保存を要しない食料)を家族の人数×10日間分程度備蓄して下さい。
備蓄品例
 - ・ 飲料水: 1人当たり1日3リットル
 - ・ 主食: 米、パスタ、麺類等
 - ・ ノードル等インスタント食品
 - ・ 缶詰等
- トイレ、洗い物用としての水を確保して下さい。
停電になると、水が使えない場合があるので、風呂やポリ容器等に水を保管して下さい。

6 医薬・衛生品

- 必要な医薬品や生理用品等を準備して下さい。
- 乳幼児関連物資(ミルク、オムツ等)を準備して下さい。
- 毛布・寝袋等の寝具、衣料品、トイレット・ペーパー等が十分にあるか確認して下さい。

7 生活用品

- ライター、マッチ、ろうそく、懐中電灯があるか確認して下さい。
- ラジオと予備電池を準備して下さい。
- 万能ナイフ、缶切り、調理用ガスの予備ボンベ等を準備して下さい。

8 緊急事態時の持ち出し携行品

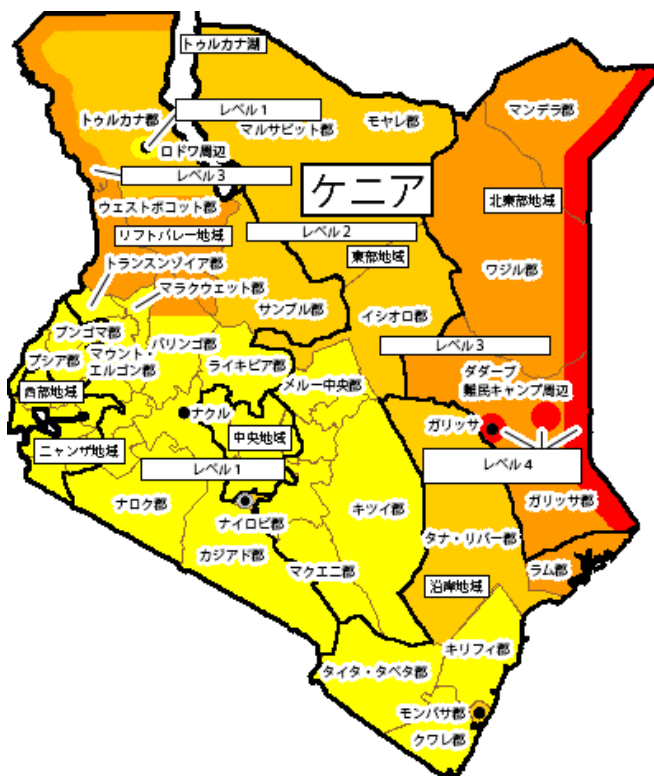
- 旅券
- 現金 ※ケニアシリングと米ドル
- クレジットカード・キャッシュカード
- その他身分証明書

☆ 基本姿勢

- 暴動が発生したら、自宅待機が基本。
- 自分の身は自分で守る。
- 新聞、インターネット、テレビ、ラジオ等から最新の情報を入手する。
- 大使館からの領事メール、緊急SMS、ホームページを随時チェックし、行動の指針とする。
- 有事に備えて、平時のうちから備蓄等の準備を確実にやる。
- 集会やデモが行われている場所には近付かない。
- スラムに近付かない。
- 選挙当日や、一部地域での暴動発生時は、全域で警察力が手薄になるので、強盗等の増加に警戒し、車に乗車している際もドアは確実に施錠し、自宅施錠も徹底する。
- 外出する際は、家族に行き先地を告げるとともに、徒歩での外出を極力避ける。
- スリや強盗被害を避けるため、マトツ（乗り合いバス）に乗らない。
- 選挙の混乱に乗じて、テロが発生するおそれがあることから、買い物は、混み合う時間帯を避ける。
- 不審な人物を発見した時は、速やかにその場から離れる。
- 爆発音・銃撃音を聞いたら・・・
 - ・伏せる→逃げる。
 - ・伏せる→身を隠す→逃げる
- テロ事件現場に近付かない(第2波攻撃のおそれ)。
- テロ事件発生時は、外出を避ける(同時多発テロのおそれ)。
- 大使館からの安否確認に速やかに回答する。

☆ 暴動に巻き込まれたら・・・

- 「自分の命以上に大事なものは無い」と肝に銘じ、絶対に暴徒や犯人に抵抗しない。
- 速やかに現場から離脱する。
- 犯罪被害やデモに巻き込まれ被害を受けた場合は、速やかに大使館に連絡する。



ケニア危険情報マップ

☆ 行動基準

在ケニア大使館は、邦人の皆様に対して、領事メールやホームページ等で、下記の行動基準を示します。

【レベル1：十分注意】

(情勢) 平和的なデモ・集会
(対応) 各家庭・職場で、新聞、インターネット、テレビ、ラジオ等から情報収集を行い情勢の把握に努める。

【レベル2：不要不急の渡航中止】

(情勢) デモ・集会等での暴力衝突が増加
(対応) 情勢の把握に努め、備蓄品を確保し、緊急時に備える。

【レベル3：渡航中止勧告】

(情勢) 暴力衝突が頻発し、与野党の大規模な衝突等が発生。
(対応) 自主的な国外退避かケニア国内の安全な地域への退避を検討。残留者は、自宅待機を検討。いつでも退避できるよう準備を進める。

【レベル4①：退避勧告】

(情勢) 市民に危害が及び、生命・身体・財産への具体的な危険が存在。
(対応) 外出を控え自宅待機。商用便等による国外退避、残留者は大使館との連絡体制を保持し、大使館及び大使公邸への避難を検討。

【レベル4②：退避勧告】

(情勢) 騒乱・内乱・クーデター等の発生及び外出禁止令が発出。
(対応) 最終残留者は国外への退避体制に移行し、大使館の退避要領等に従い退避する。

行動基準

警戒区分		想定される状況（例示）	取るべき措置
レベル1	十分注意	与野党支持者間や部族間において、平和的なデモ・集会が行われ、小競り合い程度の暴力事件が発生するものの、他地域やケニア全土に波及する可能性はない。	<ul style="list-style-type: none"> ●各家庭や職場で、新聞やテレビ等の報道から情報収集を行い、情勢の把握に努める。
レベル2	不要不急の渡航中止	与野党支持者間や部族間の暴力事件の発生が目立つようになり、ケニア全土に波及する兆しがある。	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、情勢の把握に努める。 ●10日間程度、家族全員が過ごすことができる食糧、水、医薬品、燃料等の備蓄を確保するとともに、緊急時に備えて、旅券や現金の準備、車両の整備等を行う。
レベル3	渡航中止勧告 ※在留邦人への退避勧奨	ケニア全土で、暴力衝突が頻発し、与野党支持者間や部族間の大規模な衝突等が発生する。	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、情勢の把握に努める。 ●自宅待機を検討し、いつでも退避できるよう準備を進める。 ●国内の安全な地域や国外への自主的な退避を検討する。家族のみでも退避させることを検討する。 ●残留者は、大使館や関係者に対して所在を明確にし、連絡体制を保持する。

行動基準

警戒区分	想定される状況（例示）	取るべき措置
<p>レベル4 ①</p> <p>退避勧告 ※在留邦人の 退避勧告</p>	<p>与野党支持者間や部族間の衝突が暴動へと発展し、恒常的に市民に危害が及び、生命、身体及び財産への具体的な危険が存在する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●外出を控え、自宅待機するとともに、事態の把握に努め、状況に応じて直ちに退避できる体制を整える。 ●治安が極度に悪化してきた場合は、予め指定した集結地（大使館・公邸等）へ避難し、身の安全を図るとともに、退避に移行できる体制をとる。 その際、緊急事態の持ち出し携行品（旅券、現金、クレジットガード及びその他の身分証明書等）、出国に必要な物、食糧、水、医薬品、燃料等、当面の生活に必要な物も携行する。 ●退避が必要と判断された場合は、在留邦人は予め地域ごとに指定した集結地（大使館・公邸等）に集合し、車列を組み（警察の護衛のもと）、陸路で国外に退避する。商用便が運行されていれば、空路での脱出も視野に入れる。 ●最終残留者は、大使館や関係者に対して、所在を明確にし、連絡体制を保持する。
<p>レベル4 ②</p> <p>退避勧告 ※残留邦人・残留 館員の退避</p>	<p>騒乱、内乱、クーデター等の発生及び外出禁止令、厳戒令等が発出され、行動規制が敷かれる。死傷者が続出する事態に陥る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●最終残留者は、国外への退避体制に移り、退避要領に従い、退避を開始する。 ●退避が不可能な場合を想定し、大使館・公邸等における立てこもりを視野にいれた準備を行う。

7月15日現在の警戒区分・取るべき措置

◎ 警戒区分

レベル1: 十分注意

◎ 情勢

与野党支持者間や部族間において、平和的なデモ・集会が行われ、小競り合い程度の暴力事件が発生するものの、他地域やケニア全土に波及する可能性はない。

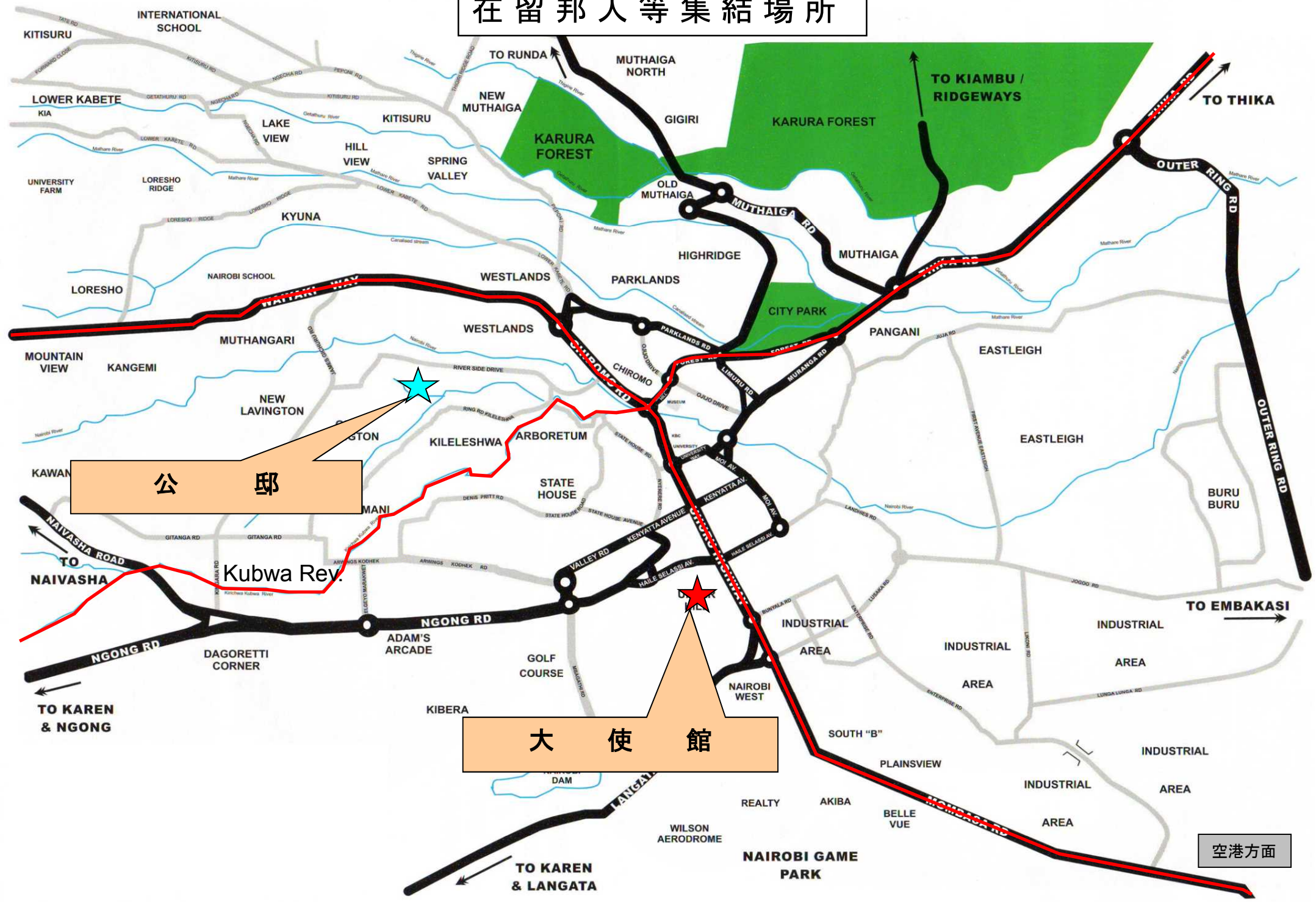
◎ 取るべき措置

各家庭や職場で、新聞やテレビ等の報道から情報収集を行い、情勢の把握に努める。

◎お願い

備蓄品や緊急時の持ちだし携行品の準備を進めて下さい。

在留邦人等集結場所



公 邸

大 使 館

空港方面